

個人質問

馬越裕正議員

「アセットマネジメント」について

議員 アセットとは資産、マネジメントとは管理・運用であり、資産を効率よく管理・運用するという意味である。アセットマネジメント手法による公共資産管理について、どのように検討しているのか。

市長 現在、橋梁の一部で行っている。今後、耐用年数が到来する多くの公共資産を、計画的かつ効率的に維持・更新していくためには、この手法の導入が必要であると感じているので、早い時期に導入したい。

「エコノミックガーデニング」について

議員 たくさんのきれいな花が咲く庭園を造るように、手間暇をかけて地元の産業



を成長させる手法である。すぐには結果が出ない手法だが、本市でも導入に値する施策だと考えるがどうか。

市長 地域の力を創造する新しい政策としてのエコノミックガーデニングを調査研究していきたい。

「グリーンツーリズム」について

議員 グリーンツーリズムとは「緑豊かな農村地域において、その自然、文化、人々との交流を楽しむ滞在型の余暇活動」と農林水産省は定義している。本市でも実施してはどうか。

市長 島しょ部では、漁業体験や伝統芸能を体験する

事業を実施している。また、現在、井笠広域観光協会で、田舎力向上プロジェクトを進めている。今後、地域振興を目的に、観光客のおもてなしや観光情報発信の仕方を研究し、広域で事業を進めていきたい。

「ワーキングホリデー」について

議員 農業のワーキングホリデーとは、都会の方に農作業や農家の生活を丸ごと体験してもらおうという取り組みである。導入を考えるとはどうか。

市長 先進事例を参考に、地域農業の活性化に役立つよう、県、JA等関係機関と相談しながら、大学との協同も検討していきたい。

角田訓也議員

西部ブロックごみ処理広域化について

議員 西部ブロックごみ処理

理広域化適地選定等業務に係る技術提案書概要版が、8月2日付けで議員に配付されたが、詳細をたずねる。

市長 今年度は、地滑り地区であるとか、法的に立地が困難な場所等を調査する。そして、適地エリアを選定し、1次選定となる候補地を抽出する。平成23年度には2次選定を行い、平成24年度中に最終候補地を選定する方向で予定している。

平成24年度までに地元説明会を経た後に、同意が得られて候補地が決定したら、体制整備、計画書の策定、環境影響調査等の手続をした上で、平成29年度に最終処分場の供用開始予定としている。

新しい焼却施設については、平成37年度から供用開始という方向で進めていく。

廃棄物減量等の推進について

議員 笠岡市廃棄物減量等推進審議会から、廃棄物減



30リットルごみ袋

量等の推進についての答申が7月12日に出された。廃棄物減量等の推進についてたずねる。

①ひとり暮らしの方は、小さくてもよいから毎回出せる枚数の指定ごみ袋を要望する声が多い。

答申では、1〜2人世帯は「30リットル袋を年間70枚」となっているが、「20リットル袋を100枚」へ、また、3〜4人世帯は、答申の「30リットル袋を80枚」を「20リットル袋を110枚」に変更できないか。

②不燃ごみ用指定ごみ袋は、10枚から5枚に減らすという答申だが、いきなり枚数が半分で理解を得られるのか。